

学校評価シート（自己評価）

川口 幼稚園

1. 園の教育目標

東川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。

この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。

- (1) 調和的人格の育成
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 保育の資質向上
- (4) 個性尊重と自主性の促進

2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	園の教育目標を全職員で共通理解し、子どもの実態把握をすることと指導計画を見直した上で各学年やクラスに合う保育を心掛けた。また四季や年齢に応じた活動や行事を取り入れている。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	B	子ども一人ひとりの個性を発揮出来るよう、また個の良さを伸ばせるよう工夫している。更に職員間で情報を共有し対応を考え、指導しているが更なる職員の協力体制が必要である。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	A	各学年毎、日々クラスの様子を互いに話し合い、どのように進めていったら良いか改善案や課題を考えて学年全体でバックアップするよう努めた。その後成果はどうだったかを共通認識できるよう報告した。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	B	戸外遊びや預り保育を通して、異学年で助けたり、交流を持ったりする機会がある。今後は更に一人ひとりが多くの友達と協力し合える場を提供していけるよう工夫していく。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	A	全職員が共通理解をし、1年を通して基本的な生活習慣が身につくよう目標を立て取り組んだ。又、汗拭きや咳エチケット、長期休み中はお約束表を配布する等、季節に合わせた取り組みも行うことができた。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	コロナ禍ということもあり、例年以上に職員のコミュニケーションをとり、計画を見直し教職員が理解した上で取り組んでいる様子がみられた。総合的に完璧ではなく、ほぼ達成されている状況であるので、更に良くなるよう改善していきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
避難訓練	職員が常に所持している防犯ブザーを使った不審者に対する訓練や竜巻や水害等自然災害に対して避難方法を園児に周知し、実施していく。
異年齢交流	同年齢だけでなく異年齢とのかかわりを持つカリキュラムを組み込むことで思いやりの気持ちを育て心の成長を促す。